



昭和十五年七月三十日

經濟週報

(第五十號)



內閣情報部

本冊子は内閣情報部第三課經濟掛に於て各種情報、調査資料、新聞、雜誌等を査閲
検討した結果を取纏め、經濟戰宣傳上の参考に供せんとするものである。(編者識)

目次

動向	一
國內關係	六
基本國策への要望	六
新政治體制と經濟政策	九
新體制下の財政金融問題	一五
最近金融界の真相	一八
新政治體制的確立と重工業の進路	二〇
日本農業再編成の基本問題	二一
新勞働政策の方向	二三
貿易行政と纖維問題	二三
奢侈品製造販賣禁止に對する業者の動向	二四
奢侈品製造販賣禁止に對する一般消費者の動向	二七
東亞關係	二八

南京地方に於ける米の一般状況と對策……………二八
滿洲國における生活必需品の統制……………二九
海外關係……………三一
英植民地の經濟價值……………三一
週間經濟重要事項……………三八

動 向

經濟雜誌論調

ダイヤモンド(八・二)

「國家國防の財政を策」 國民經濟の現状と財政上の負擔を調整するには、財政の大削減、國民生活の切下げも解決策には相違ないが、今日最も必要なのは國民生活を組織化し、國民の最低生活水準を保證する代りに、それ以外の物資は國防力の涵養に動員することだらう。それには國民經濟を新體制に鑄直す必要があるが、その體制は同時に國防力充實の限界を知る體制であることを要するから、政府は供給の側面において眞の財政に充當し得べき限界を明確にし、國防計畫を適當に調整縮小すべきである。即ち國民經濟を明確に把握し、國民生活の最低限度を保證するに足るべき消費財の數量を明白ならしめ、生産力の維持に必要な原材料、消耗固定資本の補填量を算出して、これ等の數字から眞に物的に軍事國防に供給し得べき適量を決定し得る體制が組織化されて始めて最高限までの財政が編まれるのである。

東洋經濟(八・三)

一、「資源不足の克服策」 我國には不足する原料資源はあまりにも多すぎる。ニッケル、アルミニウム、鐵、石油等殆どすべて海外資源に俟つてゐるのである。しかし事變が長期化し、國際情勢の變轉極りない事態に當面して、今や漸く、その海外資源依存策には一大轉換を行はねばならなくなつた。ニッケル鑛、ボーキサイト、米國の屑鐵、石油等然りである。政府當局は、從來の政策を一擲して、取急ぎ不足資源の補填策を確立せねばならぬ。これは國內資源を原料とする科學的補填策を措いては外にない。科學審議會も、金屬機械、燃料、化學品及農産品の四部門に就いて、その不足資源の充填を圖るべき方策を決定してゐる。とも角政府はこの際、海外依存觀念の一擲、國產資源を主とし海外資源を従とする建前の確立、それ等企業の特別助成策と新なる指導精神の確立、業者の群立の合併、合同促進、業者の技術提携等を促進し、官民一體となつて不足資源の克服に邁進すべきではなからうか。これこそ、經濟封鎖に耐へ、事變の長期化に打ち克つ國內經濟策としての唯一の方法である。(社論)

一、「アメリカ屑鐵、石油禁輸」 米國の屑鐵と石油の輸出禁止が實現し、日本は益々南方への發展を圖る必要が生じて來た。しかし米國の東洋政策が何であるか、この際我が國の官民は深く心に銘じて置かねばならぬ。即ち、米國は日本の東亞新秩序には反對で、戰爭以外の方法によつて日本を牽制し、支那事變を成るべく遷延せしめ、歐洲の平和復活の後に列國を語らひ、第二次ワシントン會議

を開いて日本の對支行動を牽制せんとしてゐるものと解されるのである。(財界概観)

一、「フランク氏の戦後經濟論と我國」 獨逸戰捷の曉は、歐洲諸國家を一大ブロックに結成し、各國それ々の國情に適した合理的分業を行ふやうに現實に即した計畫經濟強化の方向に向ふと云はれて居るが、我國として注目すべきは、新歐洲は「自給自足經濟、同時に輸出の新スローガンの下に邁進」せねばならぬといつてゐる點である。獨逸は戦後は從來には見られぬ大輸出能力を持つてであらう。そして歐洲のブロック化に努めると同時に、南米や東洋にも輸出市場を求めて來るだらう。我が國は東洋には東亞ブロックを作る決意を持つてゐるであらうが、東亞經濟ブロックは唯單に壓迫と強要だけでは實現されるものではなく、また歐洲と米國とが各々ブロック化した必然的結果として生れ出るものでもない。それは歐米各國より好い條件で東亞各國の經濟的要求を日本が充たしてやる必要がある。つまり我が國がそれだけの經濟的實力——生産力、輸出力、投資力——を保持することが必要であつて、その實力を缺けば戦後東洋が世界各國の輸出競争、投資競争の舞臺となつた場合に、我が國は經濟戰の十字砲火を浴びることにならう。當局者は冷靜に世界の情勢を達觀し、かかる情況の出現に狼狽せず、今から我が國が産業政策を誤らぬやうにして貰ひたい。(社論)

國際經濟週報(八・三)

新體制に即應する經濟諸政策の具體的内容は實は未だ不明である。經濟閣僚就任の辭は何れも極め

て穩當で財界は一應は好感したが、その具體的政策内容の正體が不明で却つて氣迷ひ姿勢である。財界は協力すべき方向に對する積極的指導を心から望んでゐるが、政府の肚が判らぬといふのが從來の最大缺陷である。また財界は眼に見えぬ影に脅え、殊に株式市場の如きはこの點最も敏感で、株式の低落は直ちに生産力擴充に響くから、これを氣にしない經濟關係はない。しかし問題はかゝる表面的な價格現象にあるのではなく、生産力擴充の合理的推進に關する具體的方策にまで溯らねばならない。株式の如きも今後は確定利付證券に近い性質を持つべきもので、取引所機構も實物中心に改革すべき點が甚だ多い。政治當局者に眞に機構の本質に觸れた洞察と明智とがない限り、單に經濟界の自律性を唱へても空念佛に終らう。最も保守的とされた金融界でさへ、結城日銀總裁をして公益優先主義を放たしめる時勢である。この環境を活用せぬものは遂にその機會を失ふだらう。政治新體制の進展と相俟ち、經濟再編成への構想は出來る限り積極的に國民を指導する心構へを以て公開されねばならぬ。(國內概観)

四

新聞論調

基本國策への要望としては經濟再編成の具體策を確立すること、政府は外交方針を明確になし得る體制を示す具體的な措置と決意が必要である。徒らに東亞建設論を繰返すやうな傾向は打破すべきである。閣僚は行政の立場に固執し政治處斷の妨害なきを要求したい。南進政策を進めよ。

經濟政策としては現在の營利企業を國家の利益を樞軸とした企業に再編成する體制をとる必要がある。この點については經濟人が奮起して積極的に協力すべきであり、また民間人に政治力を持たせるやうな政治、經濟的機構の整備を要するとも述べてゐる。更に經濟政策には長期の企劃性を要する。小林商相の産業政策は大體知り得たが、その実行力が知りたい。各工業會社内には色々の研究機關があるが、國家はその重複を避け、これを指導し連絡せしむべきである。

財政金融問題としては、河田藏相は何を與へてゐるか知りたい。金融については近視的緩和策はとつて貰ひたくない。資金計畫は比較的小額資金にも移動性を持たすべきである。インフレ防止策としては補助金政策を再検討せよ。通貨政策よりも物價抑制が必要だから、生産を増し配給を圓滑にし生産費を切下げ、購買力を抑制すべきである。事業界は整備合同せしめ、銀行統制を強化して中小銀行にも及ぼすべきである。

貿易政策としては貿易行政を確立し、特に纖維資源について自給を圖る政策が必要である。

國內關係

六

△基本國策への要望

「具體策確立を熱望」 國民が齊しく確固たる指針を翹望してゐた際であり、特に財界は劃期的な經濟機構の再編成に直面してゐるため多大の關心を以てこれを迎へた。四大經濟圏に分割された新國際情勢の中にあつて、我が國の進むべき方向は帝國を核心に日滿支の強固な結合を根幹とする大東亞新秩序の建設にあり、その條件は何れも要綱中に列擧されてゐる。

新經濟體制について見ても、项目的には主要目標を略々列擧してゐる。財界並に國民各層の要望は新體制の中核となる國民組織、就中經濟再編成であり、これに關し財界自身でもこれを積極的に盛り立てる用意がある。従つて、問題はかゝる方向に官民一致して進むべき具體策を早急に確立するにある。

外交方針について松岡外相談は今後の方向を示したが、對英米ソとの關係が不明である。微妙な國際關係は勿論考慮に入れるにしても、これらの點につき日本の歴史的地理的經濟的根據に基いた確固たる方針が明示されてこそ國民の歴史的自覺とこれに基づく實踐が呼び起されるのであるから、政府

が更に一層堂々と所信を披瀝しうる體制を自らも樹立することを財界は期待してゐる。(朝日社説 八・二)

「基本國策の發表」 新内閣の聲明は幾多の新味、新様式が発見され、かつ首相談はこの國策遂行に對する政府の心構へを明瞭に表明してゐる。しかし基本國策大綱を見ると、基本國策の根柢づけ、内外の理解を容易ならしめる新體制の世界觀的所説が餘りに貧弱である。政府當局としては、この點に關する態度を判然たらしめることは當然であるが、松岡外相はこの點には觸れてゐない。國民の政府に期待することは世界の現事態に對處する國民的感情を具體化した世界觀であり、その新政策である。國內態勢刷新の諸項目に新體制結成に關する示唆が豊かに否まれてゐる點は注目し得る。特に教學の刷新、國民道德確立、國民生活の確立を強調した點は新體制運動の目ざすところを推測し得る。(日社説 八・二)

「新東亞の設計」 事變處理は勿論のこと、將來の東亞建設に對して未だに指導原理が確立されず、識者の間には東亞綜合體、東亞廣域經濟、東亞經濟圏といふやうな言葉が作り出されてゐる。これ等の論者は最も大切な東亞建設の大方針を忘れ、極めて小乘的な抽象論を闘はせ、そこには當然不健全な分裂的傾向を伴つてゐる。その原因は我が南方政策が一時の針路を見失ひ、國民の志向を擡動し得なくなつてゐる事實に求めねばならぬ。徒に學者、インテリのみが東亞建設の觀念論を闘はすべきではない。

七

か、る傾向は歴代内閣の政治力、断行力の不足から派生せる當然の結果であつて、これを拂拭すべきことが現内閣の第二の仕事でなければならぬ。(報知社説 八・一)

「基本國策要綱と外相談を讀む」 近衛内閣の施政方針は單なる抽象的羅列に過ぎない。外交方策、國內體制の建設問題にしても要するに平凡の一語につきる。國民一般の失望は蔽へぬものがある。

寧ろ、今最も強く要求し最も緊急を要する底の政策の達成に傾倒するのが一番効果的で新體制的ではなかつたか。

松岡氏の談も有田外相の放送に比較して、いかにも積極性に缺けてゐる。我々の外相より聽かんとすることは明確な我が外交針路を如何に打開するかの具體的措置と決意とである。(報知社説 八・二)

「國防經濟の基本要綱」 經濟國策の目標は日滿支を一環として大東亞を包容する協同經濟圏の確立にある。従つて今後は貿易政策の積極的體制を整備し、國內の經濟體制、物動計畫を刷新高度化することが緊要で、特に一國經濟の均衡を確保し、弾力性を保持することに深甚の考慮が必要だらう。(中外社説 八・三)

「基本國策に對する批判」 基本國策要綱は國防外交の充實轉換と國內體制に或る程度明快なる新方針を闡明したものといひ得る。新政治體制を確立し國政の綜合統一を圖るためには新國民組織の確立が絶対要件となることは同感であるが、それは寧ろ官民の立場を越えた國民そのものの協同翼賛の組織

でなければならぬ。

外交の重心を支那事變處理の完遂にをき、國民道德を確立し、國民犠牲の不均衡を是正し實質剛健な國民生活の水準を保持せんとする方針も妥當であるが、それ等は行政擔當者の一方的努力によつて實現するものではない。要綱の後半に見る個々の政策羅列主義に現れた態度には明かに非政治的要素が強く、政治の本質はかゝる吏僚的眼界を越えて大局と急所を達觀する所にある。閣僚が行政の立場に固執して政治的處斷の妨害なきを嚴に要求する。今は生きた政治の指導力を待つのみである。(國民社説 八・二)

「南進政策の推進」 今回の帝國政府のとらんとする南方政策の具體的措置は大いに意義がある。外交轉換は單なる小手先の外交技術や机上の空論によつて断行し得ない。眞に断行するには、英米依存によつて獲得し來つた資源を新分野に確保すべきであるが、新分野とは即ち南方を指すのである。世界は三プロック實現の方向に辿りつゝある。我々は獨、米に對し各自の分野に於ける繁榮に専念すべきで、他の分野への干渉、野望を断念すべきことを要請する。政府はこの際南方生命線確保のため、大英斷を以て南進政策を推進すべきである。(報知社説 七・三一)

△新政治體制と經濟政策

「新政治體制と經濟再編成」 新黨運動がどう發展するかは、全く未知數であるが、一部政黨人及至特權

階級は論外として一般國民はこの運動が強力な舉國新政治體制の樹立に發展することを庶幾してゐる。今日の我が國の内外情勢は政治體制を頂點として、行政、經濟、社會の全面的再編成を要求してゐることを、國民は具體的日程として把握しなければならぬ。従つて經濟の再編成、行政機構の改革問題は、舉國政治體制の問題と共に具體的方向と、企畫を決めなければならぬ所へ追ひ込まれてゐる。この要請は新黨運動が答へねばならぬ至上命令である。次に新黨運動の建設プログラムの問題も、現在の實狀は舊い建物は壊したが、新建築の設計や材料を持たぬ、少くともまだ整はぬと云ふ所である。しかし新黨陣營は固より、その他の陣營も、今こそ眞剣に急速に、具體的に、建設的プログラムの研究し、且つそれが獨善と偏倚に陥らぬやう出來る限り廣く國民の批判を受ける機會を設くべきであらう。

問題を經濟の再編成に限つて見れば、第一の問題は、現在の營利を樞軸とする企業組織をその儘として國家の利益を樞軸とする再編成が可能か否かの點である。組織よりも經濟道徳を重要視し、ありの儘の姿で公益參加を主張する者もあり、また經濟組織と經濟道徳とは不可分關係にあり、新道徳の確立は、その道徳と矛盾しない經濟組織を確立しなければ不可能であると主張する者もある。更に組合、カルテル等の經濟團體の強化、その一元的再組織を主張する者もある。これは企業の基底を現状の儘にして、單に營利代表によつて組織される團體の力を強めるに過ぎない。

更に經濟團體強化による民間自治統制を確立すべきことを主張する論者があるが、その自治能力は少くとも疑問である。他方官治統制強化論者は、重要産業の國營や強力な國家管理、従つて業者を國家の月給取りに化せしめる方式をとつてゐる。しかしこれも産業の發展、高度化と矛盾しないか疑問である。次に經濟再編成の企畫を誰が主體となつて樹てるかの問題である。出來るなら經濟人自ら企劃に當るべきである。問題は彼等にその能力や氣組ありやに歸する。然らば「選ばれた先覺者」がこの難事業を擔當するに適してゐるか。これも亦問題である。只經濟人の奮起を望む次第である。(國策研究會調査週報 三三八號)

「新體制下における經濟と政治」現在の經濟統制の行詰りは、この統制が上からの統制で經濟の實情に添はず、机上案となつてゐるためである。これを改めぬ限り總力發揮は期待し得ない。こゝに經濟統制に對する民間人の積極的協力の必要が痛感される。

しかし問題は民間の練達堪能の士を擧用するのみでは解決されず、民間企業の總てを計畫の編成と實現に積極的に參加しうる統制方式をとる必要がある。そのためには民間經營がまづ自由主義的性格を揚棄し、經營の指導、創意が生産の量、質の點で競争し合ふやうに國家的性質を帯びる必要がある。これに原價計算、經理方式の一定化、株主配當の利子化、資本支配よりの企業指導の解放を行ふべきである。



かくして民間企業者が、單一統制のみの立場から、統制方式の編成に参畫する立場をも合せ確保し、國家のために自ら作成した生産目標を自ら實現せしめる責任をもつて初めて經濟力の最高度發揮が期せられる。

かくて經濟新體制確立のキー・ポイントは凡べての民間企業者に政治力を持たせるやうな政治的、經濟的機構の整備にある。

民間側も一部には單なる系統組織の編成替のみを新體制の目標と誤謬し、或は利潤追求本位の企業形態に觸れず、たゞ民間業者の自治統制の範圍擴張を以て總力發揮の所以とする者さへある。しかしかかる錯覺はあるにせよ、事實、今や總力戰體制整備の方向にすべての國民が動き初めた。従つてかかる國民運動が下から盛上る形をとるのは望ましいが、政府も拱手待機せず、この際、業者の行くべき途を明示し、新經濟體制確立の契機を作るのが、爲政者のなすべき當然の任務ではなからうか。(朝日 八・六)

「經濟新體制と企畫性」 經濟部門の新體制とは經濟の企畫性を一層組織化するに外ならぬ。經濟が企畫される場合、地域や時間が限定されなくてはならぬが、今日地域の限定は出來上つた。即ち東亞經濟圏である。この地域をアウタルキー圏として組織するか、他の經濟圏に對しどの程度に通商するか。その通商上に如何なる手を打つかが企畫の目標となる。企畫は時間的に長期に互らなくてはならぬ。

生産を效果的に行ふには配給、消費について物的、人的資源や組織に相當長期の企畫が出來なくてはならぬ。今は舊體制が新組織に變更されんとし、こゝから出發する政策は自明的に展開する。公益優先が強調され、不法行為が嚴罰され、消費も強く抑制される。利得觀念から出來た各舊制度は制限、廢止されることになる。要するに統制が強行はれるものである。新體制を迎へるに當つて、國民が認識すべきは高度國防國家の建設である。一切はこの目標に向けられる。これが經濟新體制の實體である。(日日社説 七・三〇)

「新情勢下當然の歸結、實際的施策に重大關心」 新内閣の國策基本要綱の聲明は、從來の我が戰時經濟の當然進むべき方向を示したもので、問題はこれを如何に具現するか具體的方策にある。殊に新内閣は強力な體制を各方面に確立するといふから、それ〴〵具體的な經濟施策が次々に現はれて來ると見られるが、現在、經濟各省に進捗を要請される重要問題が文字通り山積し、これら重要諸問題はこれを一轉機に内閣聲明の基本線の方向に従つて着々解決を急がねばならないであらう。これに關しては觀念論でなく、またイデオロギイに捉はれた偏見を避け、實際に即しその實體から再出發して新經濟體制へ總てを嚮導して行くやうな具體案を急速に勘案し實行すべきである。經濟關係相が如何なる實際施策を以て臨むかに多大の注目を拂つてゐる。(都社説 八・二)

「生産擴充の新體制」 商相は産業政策の方針を表明したが、狙ひは生産増加の一點に集中されてゐる。

日滿支を一環とする協同經濟圏の確立と英米に依存しない自給自足經濟の樹立を前提とする限り、狙ひは誤つてゐない。しかし物資増産の急務は事變前からの産業界の主題目であり、今日まで相當英米依存の建前に立ちながらも増産目標が達成出来なかつた。商相はどんな祕策を持つてゐるか。國民は政綱政策の表示のみでは最早や満足しない。どれ程の實行力を持つか知りたい。増産目標の外に商相は低物價政策は從來の金融部面からの施策と並んで物資方面からも促進するといつてゐるが、これも増産論である。科學振興の方策は内閣全體の問題である。國立又は財團組織の大機關の新設も必要であるが、商工省は早急に各工業會社内に設けてゐる研究機關に對する行政をなすべきである。これら民間機關は閉鎖主義である。國家が指導者となり、相互の連絡をとり重複を避けしめることはこの際最も必要である。(日日社説 八・三)

「速に經濟政策の方向を示せ」近衛内閣の性格から見ても、その經濟政策は必ずや統制強化に向つて相當急進的な方向を取るものと考へられてゐたが、經濟閣僚の顔觸れから見ると、寧ろ現状維持的な色彩が濃厚である。現内閣は基本國策要綱を發表するといふが、その内には恐らく經濟政策の具體的なものはあるまい。そこで問題は山積せる當面の問題を現内閣がどう處理するかにある。これらの内には固より前内閣の方針をそのまま踏襲し得るものもあらう。しかし何でも踏襲するのであつては現内閣の性格はなくなる。例へば諸經濟政策案件はその悉くを一新して活潑な新政策によつて再出發し、時局

の展開に對處するものでなければ、經濟政策に關する限り新内閣出現の意義はない。只こゝに注意を要することは徒らにイデオロギーのみ高く立派でありながら、實效の擧げない政策の多いのに現在の我が國は悩みつゝあることである。何れにしても現内閣は生新の氣を以て、問題となつてゐる各種懸案の解決に向つて全力を傾注し、そのうちに新内閣の經濟政策の方向を具體化し、經濟界の向ふ所を示すことが喫緊の要務であらう。(讀賣社説 八・一)

△新體制下の財政金融問題

「河田藏相の消極性」藏相の參宮車中談は相當具體的ではあるが、政策は盡く消極面に屬する問題である。既定繼續費の整理や低物價政策のための補助金政策、輸入命令による損失補償制度を再檢討するのは、他に名案ありや疑はしい。藏相の行政機構政策に對する意見は概して否定的で、最少限度に限らうとしてゐる。企畫院の主計局併合も不賛成といふが、現在の機構そのまま認めたらば、一切の改革は不可能である。公債消化方法ありや。また銀行資金調査に乗出したことは遅きに失する位である。外國爲替政策も從來通りでいゝとはいへない。公益優先、私慾抑壓といつても新經濟道德の樹立方策ありや、これ等積極面の仕事に就いて何を考へてゐるか知り得ないのが物足りない。(日日社説 八・五)

「資金統制の計畫化」西下車中における河田藏相の談話は餘りに當然過ぎ、具體的な諸點について甚だ

遠慮勝ちの憾があり、重大問題を孕む我が財政の安定感が捕捉し難い。單に次年度のみでなく、數年を見透した財政が新體制の取り上ぐべき問題であり、かゝる財政の見透し確立の基礎として計畫經濟高度化へと急速に押し進めることが矢張り今の大きな課題である。

他部面の統制が一段進展し、特に利潤統制の強化と共に資本の新たな自由移動が起つてゐる今日、資金計畫の計畫化と強化とは今後の利潤抑制の前提条件となる。預金五千萬圓以上の銀行の報告を基礎として資金統制計畫を進めやうとしてゐるが、比較的小額資金についてもその移動に計畫性が貫徹するやうな仕組みも當然攻究すべきである。

なほインフレ防遏對策として列擧されてゐるものは何れも當然であるが、特に補助金政策については是非根本的な検討を試みて貰ひたい。かくてこそ物價對策は根本的に立入ることとなり、經濟政策は一新するであらう。

公債政策としては日銀手持公債まで減少せしめるやうな積極的通貨收縮策を圖るとの意氣込は諒とせねばならぬが、一方、物價の騰勢が抑へられねば不可能である。通貨收縮よりも物價の直接的抑制の方が、今日では政策として前提とすべきことを反復強調する。(朝日社説 八・五)

「金融對策如何」 金融界は上半期通りその後も依然、強調を續けてゐるが、昨今の金融強調には種々な因子がある。日銀が國債の消化促進に努力してゐること、國庫への資金吸収量が多かつたこと、政

府の支拂に手加減が施かされてゐることだ。金融を窮乏ならしめる事情がある半面に金融を緩和すべき事情もあることを知らねばならぬ。主なものは商業資金の需要が目立つて減つたことである。もし金融を緩和させる事情が更に強くなれば金融の強調に幾分の變化がないともいへまい。たゞ日銀は今後國債消化の促進的態度を改めることはないであらう。國債消化量が増加する限り商業資金の需要が減少して金融は強調を續けるであらう。インフレが進行しつゝある際、新蔵相が金融について近視的緩和策を講ずることなきやう切望する。(讀賣社説 七・三一)

「基本國策と金融統制」 基本國策に基き經濟關係省は直ちに具體案を樹てることになつたが、こゝに留意すべき點を二、三指摘するに、商工省が時局の要求に基き、重化學工業の劃期的發展を期するため重點主義を強化し、科學の應用、高能率主義の採用、事業界の合理化に徹底せんとする方針を示してゐることは重要で、一日も速かに英斷の方策を採ることが緊要である。インフレ抑制、貿易伸張の立場からも、生産官廳としては低物價政策に協力するには生産の繼續的增加と配給の圓滑化、生産費の切下げといふ線に沿つて實現するより外はない。低物價政策の遂行には過剩購買力を何れかの面において抑制することが最大の要務である。その徹底化に内閣の方針を決定せずして、生産助長、配給の圓滑化を圖るべき商工、農林兩省が物資の面から低物價を實現せんとし、自らデレンマに苦しみ、その昏迷より覺醒し得ないのは遺憾とせねばならぬ。更に高能率主義によつて重化學工業の劃期的發展を期

するには弱小企業の濫立状態にある事業界に整理合同の地ならしを断行することが不可欠の要件で、これには金融部門からの協力がなければならぬ。今後の整理合同において金融資本の私的立場のみからする整理合同は許さるべきでない。金融統制の強化を謳ふ現内閣は、果してどの程度に實現するか特に見守らねばならぬ。(讀賣社説 八・四)

「銀行統制の強化」 河田蔵相の車中談は國民の大きな期待にちぐはぐな感じを與へ、財界は早くも蔵相を甘く見、新體制に期待した方面に失望を與へてゐる。百億財政の處理に乘出した以上、國民がその力に應じ、ほゞ平等にこれを負擔するやう計らふのが戦時財政の常道である。一方に不當な戦時超過利潤を得る者、他方に過重な犠牲に呻吟する者のある今日、その是正は斷じて實行すべきで、殊に金融統制の實権を先づ掌握することである。事變勃發當初より不當に寛大な自治統制を許容された金融界の特権は、一日も存続を許さぬ情勢にある。今回蔵相が大銀行に對し資金運用計畫の報告命令を通牒せしめた措置は正に當然で、更に中小銀行にも及ぼすべきである。物資及び勞務の動員は既に相當進んだ方策がとられてゐるのに、金融部門の統制のみが著しく立遅れのまま、放置されたところに今後の問題が存するのである。(報知社説 八・五)

△最近金融界の真相

昨秋から今春へかけてのインフレの急進展はその後の金融に於ける諸種の統制強化策と、生産部面に

於ける部分的な收縮關係とから、稍、小康を保ちつゝあることが察せられる。即ち最近二箇月間の金融界は最近發表せられた六月末全國銀行勘定の結果に徴すると、預金狀況は普通、貯蓄銀行並びに郵便貯金等好ましい情勢であつた。

運用方面に就いてみると、これ等の資金は相當な部分が國債投資に役立った。即ち普通銀行の預金の實質上の四割、貯蓄銀行の六割強は國債に投資され、更に大藏省預金部は殆んど國債消化機關であり、従つて郵便貯金の激増は即ち國債消化に役立つ。この傾向は日銀手持公債不増加の事實に集約的に表現されてゐる。即ち、日銀の國債消化は五月一一・四%、六月一一・二%となつてゐる。しかしこの反面に相當の無理が存在してゐることも注意せねばならぬ。それは日銀の民間への授信の激増したことに窺へる。國債は民間金融機關に賣却し得たものの、それが市中銀行の金融梗塞を齎らし、日銀の民間融資を餘儀なからしめる結果に陥つたのである。この結果國債消化の好轉に拘らず、紙幣流通量は一向減退の傾向を呈するに至らない。國債消化の改善のみで、金融部面の問題は決して解決されたものではな

い。これ等の事實に鑑み、政府は極力需要の側で事業資金を抑へ供給の側で國民生活の合理的切下を行ひ、これより生ずる餘剩購買力の吸収に専念する意向であるといふ。こゝに今後の國債消化の促進、インフレ防止の重大な鍵が藏されてゐるとみられる。(東洋經濟 八・三、調査と研究)

△新政治體制の確立と重工業の進路

二〇

國內の重工業はその性質により各部門別に分類し、假に「重工業對策委員會」としたなら、その下に各部門對策委員會を設けて生産と統制命令實施上の絕對權を持たしめ、各部門には有機的細胞組織として各個企業者が生産受命者として存在せしめるやうにすべきである。産業ファッシヨ組織ともいふべきものだが、政治ファッシヨと異ふ點は後者が一人の命令を絕對視して容認するに反し、前者は國體機關として委員會形式を持ち、その決定が單一強力な統制命令と現はれるので、各細胞企業組織の生産計畫は國家が必要なるが故に生産するのであつて、決して利潤その他組織自體の個々の目的のために生産するのではない。従つて企業組織に就ては、國家が必要とする限り生産力の保持、換言すれば企業個々の存立は國家が絶対に責任を負ふべきものである。

部門委員會の上に對策委員會があるが、その上に商工省が統制行政、監督命令權を發動すれば、對策委員會は省内機關として充分の機能發揮し得るものと思ふ。而して最も必要なことは産業行政命令は一の機關に於て完全に把握し多角命令を絶対に避けることであり、各省よりの調査、需要量要求等は總て商工省が統合し國家産業の推進力となるべきである。かゝる強權發動の機關としては企業細胞部との摩擦を避けるため民間との人事交流も必要と考へられるが、有能の人士を自由任用することは自己の職を擲つことになるから、顧問或はその他の形にし同時に自己の職務を擔當せしむべきである。而して工作

機械工業部門に於て第一に採るべきことは國內需要量の確定である。機種別全體需要量の確定は困難であるが、各機關が完全な連繫の下に行へば不可能でなく、その需要量さへ決定すれば如何なる困難を冒しても國內自給を圖るべきである。更に工作機械は最も品位を重視するから、所要數量と品位とは表裏をなすことを前提とする。右需要數量と對比して工作機械製造工場を決定し、即ち主力工場に對しては製造機種を部門委員會が定め、中位の工場はその外翼として一工場一機種とし、更に部分品工場の選定と共に工作機械工場の許可主義をとるべきである。それから輸入工作機械のやうな高度の技術を必要とするものには、主力工場に製造割當命令を行ふと同時に、輸入することそれ自體が獨立の阻害となつてゐるから、適當な時期に輸入を禁止すべきである。然る時は工作機械工業の對策も生れるもので、これ等の方策は商工省の外廓、或は内部に含まれた官民組織の部門對策委員會により決定命令され、企業者團體はそれによつて細胞運動を行ふべきである。(ダイヤモンド 八・一、今井四郎〔池貝鐵鋼常務〕)

△日本農業再編成の基本問題

日本農業の再編成は從來の如く分村計畫により適正經營規模にまで農家一戸當りの經營面積を擴張するとか、公正小作料の確立による分配の公正化、共同作業の普及、労働の機械化によつて農業經營條件の改善を圖るにあるのではない、不足の労働力、缺乏せる生産資財を以て國家が必要とする食料資源、纖維資源の生産を確保し得るやうに行はるべきである。それがためには農地の國家管理を實施し、農地

二一

所有者も勝手に農地の使用目的を變更し、任意に作物の變更をなし得ないやうな制度を確立すべきである。然し國家管理といつても、それに均しい實が擧り、その方が遙かに圓滑に行はれる制度ならば好ましいわけである。この意味で經營組織それ自體の再編成を斷行し、從來の個人經營を止揚して重要農業機具の個人所有を禁止して部落協同體の占有に移し、肥料その他の農業生産資材の配給對策は部落協同體とし、生産の割當、生産の責任と義務とを部落協同體が負ふやうすべきである。而してこの協同體を構成の舊來の農家各戸は經營の危険負擔を耕地その他の生産資材の出資に按分し分擔すると共に、收益も亦これに按分して配當をうけることとし、勞務には國家の定めた一定基準に隨ひ賃銀の支拂を行ふ制度にすれば、不公平は免れやう。次に農業生産上における從來の如き分裂的行政は整備する必要がある。その急を要するものは、葉煙草生産に關する行政の不統一であらう。更に米穀生産計畫を遂行するには、高度の消費規正を行ひ、米穀生産に適する滿洲、特に北滿の地を選定して指導的農民と必要資材を供給し、國內農業機構の編成替に拍車をかける必要がある。日本農業は高度國防國家體制として最も遅れた状態にあるから、全努力は高度國防國家體制的農業組織の完遂に拂はるべきである。(ダイヤモンド 八・一、八木澤善次)

△新勞働政策の方向

勞資一體、産業報國の理想實現には勞務者の立場を擁護し、指導誘掖するやう實質的な内容を與へ

よ。それには産業運動の中央組織確立が必要であり、産業報國相互間の横の連絡を緊密化することも當然なすべきであらう。去る二十五日、帝都で行はれた産報、農報、商報の各聯盟の打合懇談會は産報相互間の横の連絡を鞏固すると共に、新體制への協力として識者の關心を聚めた。次に現在の勞働行政は各省に分割され、斯かる状態では適切な勞働對策の樹立實施が不可能であり、生産力擴充には支障を來すから、その一例としては勞働省を創設し農村勞働をも含めた全般的勞働行政を統一し、一元的に勞務の配置その他を擔當せしむべきである。それには専任厚相を一日も早く決定することが刻下の急務であらう。(ダイヤモンド 八・一)

△貿易行政と纖維問題

「貿易振興への若干の問題」現内閣は一般政策政綱と共に輸出振興策についても研究中と思はれるが、それは一般的振興策と併行して個々の重要商品につき具體的對策が樹立せられねばならぬ。當面の輸出振興策としては、先づ豫期に反し著しい打撃を被つた纖維製品の輸出増加を圖ることが急務である。これには強力な綜合的組織的輸出統制が必要で、現在の組織に變更を加へ新な強力機關を設置すべきである。次に對外的に當然市場の轉換、即ち磅系市場より弗系市場への轉換、これが輸出打開策の一方である。これと同時に貿易振興策の一として行政機構の整理統一が當然行ふべき重要政策である。(國民社説 七・三一)

「貿易行政と纖維資源」 英米依存を捨て獨伊依存に轉向せよとのことは一應尤と思ふが、今遽に磅リクをやめて獨のマーク依存に變更するとしても準備があるのか。貿易の流れは無視出来ぬから、この邊のことを考慮して摩擦のないやうに進むべきである。戦争の擴大から貿易は全面的に再縮少を免れまいから、將來は日滿經濟ブロックを鞏固にし纖維資源の自給自足を圖り、懸て南支から佛印、南洋に擴大すれば重要物資の自給は完成される。(ダイヤモンド 八・一、津田信吾)

△奢侈品製造販賣禁止に對する業者の動向

業者の打撃深刻で、特に群馬、埼玉等の織物業者の中には休機する者續出し、取引先の銀行も稍々動搖を見せてゐる。業者は國策ならば仕方ないが、ストックの處分に三箇月の猶豫期間では短かすぎると考へてゐる。過剩従業員は轉業を劃策中であるが、製箔職工、刺繡工、時計工等は作業の性質上不具者が多いので轉向が困難である。以下警視廳管下の状況、その對策、要望を述べて見やう。

一、貴金屬商指輪業者は約八割を占め金融上の混亂は大きい。對策としては猶豫期間中に賣却し、或は輸出向にすることも考へられてゐる。期限後は制限範圍内の製造に従事し時局産業方面に轉向する者も少しはあるが、多數は失業の已むなき状態である。だから指輪は三十圓程度にして妥當な價格を制定し、販賣期を七、八箇月猶豫して欲しい。

一、織物業(生産者側) 八王子方面の織物業者の滞貨品六萬九百點、價格約百萬圓に上り、三越等高

級品を取扱ふ百貨店關係の專屬圖案加工業者は禁止品を取扱ふ者多く、この方面の業者は苦境に陥るものと思ふ。業者は十餘の部會を組織し、各産地より一名づゝの代表委員を出して原料や製品保有高を早急に調査し、更生對策を圖る筈だが、今後は一般大衆向商品製造に轉換する。冬物手持品の販賣促進が最も必要だが、金銀絲を容易に抜き取り得るものは抜き取り、或は藥品で抹り消して販賣し、行人を雇つて期間中に販賣を圖る方針である。現在手持品には證明による無期限販賣を認めて貰はぬと金融上大影響がある。また基準にしても三百五十圓までの裾模様は許可して、繪羽織は禁止する等均衡上大影響がある。また基準を定め業者に徹底させて貰ひたい。

一、織物業(卸業者) 業者によつては商品の七割方は禁止品で滞貨は六、七十萬圓に上るものもある。小賣商方面が同様の運命に置かれてゐるため、荷捌きも約三割方減し、或者は小賣商方面より商品の返却を迫られる等相當苦境にある。それで業者は一般に全國八億圓に上る手持品の處分方法を考へてゐるが、一部では五割引で「セリ賣業者」方面や行商方面に販路を求めてゐる。店員の整理はしない方針である。

一、家具類 商品の性質上禁止品程度が一番賣行が良く生産も相當多量にあつた關係から、高級家具専門の製造業者への打撃は大きい。期限までに賣捌き困難の場合は、規格と引下制限以上として賣る外はない。今後の製作は材料の入手如何に懸り、材料が入手出来れば収入は減つても失業、轉業の心配は

ない。然し材料は著騰してゐるから、統制引下げをして貰ひたい。また木工藝術の保持等の意味から高級品の生産をも認めて貰ひたい。

一、皮革關係 靴類は處理法もあらうが、革手袋の最高價格五圓では規格變更は不可能である。殊に禁止令發表後は自然注文も半減し發送濟のものも取引未済のものは返戻の浮目に逢ひ、業者は必然的に操短、轉業の已むなき状態にある。ストックは期間までには處分したいが、現材料ストックには更に六箇月位の猶豫期間を認めて欲しい。

一、小間物雜貨メリヤス類 轉向は容易だが、現業を續ける側から見れば三、五割に上る禁製品今後の賣行は激減を豫想せられ、問屋、販賣店等から解約返品が増す場合相當大打撃があらう。猶豫期間中に禁止ストック品の賣捌策を講じ損失の輕減に努め、今後は大衆向製造に轉向し餘剩設備や勞力は他の産業に振向ける方針であるが、出来れば猶豫期間を延ばし、ストック品の減少を圖り、残品は輸出に向け、轉業者には更生策を講ぜられたい。

一、寫眞機類 國産品は制限以下だから今後は相當市場に出やう。滯貨品は輸出に向けるが、廉價に販賣するか、消化出来ねば政府の買上を希望する。轉向の途は輸出専門か、滿洲、殷賑産業方面に開かれてゐやう。「カメラ」の價格決定のため價格審議會を設け、材料の圓滑な配給と滯貨品の消化期間の延長を切望してゐる。

一、玩具類 一割に及ぶ制限品の製造業者の影響は大きい。結局制限外の品を製造するより外に方法はない。五月飾馬に金屬使用を特殊のものとして許されたい。輸出杜絶を來さぬやう政府の努力を望み、高級人形製造の或る一店に現在七萬圓の手持があるから、かゝる業態には特別の考慮を望む。

一、質 商 利息の低下、流質物の賣買制限で影響甚大である。猶豫期間も出来るだけ措置する考であるが、場合によつては損失を見越して處分する考である。猶豫期間を本年中と改めて貰はねばならぬが、目下入質物には該當品に對して十月七日を以て流質期日として示達し得るやうにして貰ひたい。

(情報 八・二)

△奢侈品製造販賣禁止に對する一般消費者の動向

一般消費者は寧ろ遅きに失し、この程度では手緩いとの考を抱き、時局認識は相當徹底してゐるやうである。(情報 八・二)

△南京地方に於ける米の一般状況と對策

南京地方は旱天続きのため揚水に勞力を奪はれ、更に植付不如意や本年度收穫の不安を招いて米價暴騰を來し、農民、商人の手持米の放手しを忌避せしめ、消費地への出廻は極度に減り、都市又は縣政府所在地の在庫米は拂底し、治安、民生上容易ならぬ情勢にある。他縣からの流入米で民食を賄つてゐる南京、鎮江、揚州、丹陽に就て見ると一日の消費量は合計一日五千八十擔、出廻量は二千八百七十擔、在庫米の總量は一萬一千九百五十擔といふ極めて憂慮すべき情態で、不足分は開取引或は代用食で補ふ有様なので、野戰貨物廠、總司令部衣糧課では米の需給統制並に米價調節のため不足各地に輸送を開始してゐる。

南京市の對策としては、下層民に對しては國民政府賑務委員會から資金の提供により六、七、八の三箇月間、蕪湖米の供給をうけて切符制度により廉賣する計畫であり、一般民衆には米の配給をうけて米業公會、合作社をして六、七、八の三箇月間販賣に當らせる考だが、結論としては蕪湖、太平の米を野戰貨物廠から配給をうける外ない状態である。積極策としては合作社の買付の擴大、敵の經濟封鎖網を

破壊が更に考慮されよう。次に米の買付方法としては左の事項を指摘することが出来る。

- 一、軍元請業者に中國人を參加せしめること。
- 二、集貨個所を適宜分散し、各局地に應ずる買上値段を調整して集貨増加を圖る必要がある。
- 三、一局部における搬出禁止は米價をして平衡を失はしめ密搬出が増加する。
- 四、買付價格の市價との妥協。(現地情報 七・二五)

△滿洲國における生活必需品の統制

滿洲生活必需品會社の事業としては次の如く定めてある。

- 一、生活必需品の輸入、買付及配給。
- 二、生活必需品の委託買付及委託販賣。
- 三、會社は經濟部大臣の認可をうけ、前項各號に附帶する事業を營み、又は生活必需品の製造若くは販賣事業に對する投資をなすことを得。今實際の活動機能とその運用状態を見やう。

第一に就ては殆ど大部分を日本に仰ぎ、輸入の方法は滿洲國政府が日本政府と折衝して一定の輸入割當量を協定し、それだけの分量を各縣の東亞輸出商組合や商品別輸出統制團體の統制下にある輸入業者等から仕入れるか、或はアウトサイダーから仕入れる建前である。

次に運用状態を見ると昨年度商品仕入原價約三千七百三十六萬圓、販賣收入は約三千八百九十三萬圓

で賣買利益金は約百五十七萬圓である。販賣利益率は四分餘である。會社は本年度販賣豫想額を五億五千萬圓と發表してゐるが、昨年度と同様四分の利益をあげるとすれば、二千二百萬圓の利益は確實である。問題はかゝる販賣量を實現し得るかどうか、物價の適正維持の問題も必需品會社に俟つところが多いと考へられる。(大陸資料 五・二二)

海外關係

△英植民地の經濟價值

英國の植民地は政治的には印度帝國、自治領、植民地、保護領、屬領、委任統治地とに分けられてゐるが、總面積は三千百五十萬方呎、總人口四億三千九百萬で、面積人口共に世界の四分の一を占めてゐる。更に植民地の資源は多種多様で殆ど無盡藏に近く、僅かに石油、アンチモニー、モリブデン、水銀、加里、生絲等數種のものが不足物資として擧げられるに過ぎない。

一、加奈陀 近年製造工業が盛になつたが、未だ原料生産國の域にあり、特に農業と牧畜業が盛で主要農産物は三七年に小麦四百九十六萬噸で世界第五位、大麥百八十萬噸で世界第七位、オート麥四百十萬噸で世界第四位、ライ麥十五萬噸、玉蜀黍十四萬噸、甜菜七十萬噸、馬鈴薯百九十三萬噸、煙草三十二萬噸、その他果實である。牧畜は牛四百六十萬頭、馬二百八十萬頭、羊三百四十萬頭、豚三百五十萬頭を飼育してゐる。森林の總面積は百二十五萬方哩で太平洋岸に良材が多い。鑛産物は三七年に金百二十七噸で世界第二位、銀七百噸で世界第三位、銅鑛二十四萬噸で世界第四位、ニッケル鑛十萬噸で世界第一位、鉛鑛十八萬噸で世界第二位、亞鉛鑛十七萬噸で世界第三位、石綿三十七萬噸で世界



第一位、石炭千四百萬噸、マンガン鑛三萬七千噸、鹽四十二萬噸、石油三十七萬噸、天然瓦斯八億四千萬方米である。更に水力電気工業と製紙パルプ工業は世界第二位、アルミニウム工業は世界第四位、人絹工業は第八位、製鐵製鋼業は第十位である。次にその東岸のニューファウンドランド島はラブラドル地方と共に漁業が最も重要で農牧業も相當に行はれ、埋藏量三十六億噸の鐵鑛、石炭、金、銀、銅があり、製紙工業も盛である。紐育の東南八百料の大西洋上にあるベルムダ島は農業が盛である。

一、中南米の英植民地 主産業は農業で、甘蔗、コーヒー、コブラ、果實、棉花、煙草、ゴム、ラム酒等が主な産物である。ジャマイカ島は英本國の綿業勃興期に原料の供給地として貢献し、トリニダード島はアスファルトと石油の産地として有名である。ホンデニラスは、硬木と熱帯果實が主な産物で鑛産物には金と銅がある。ギアナの主要産業は農牧業と鑛業で、農産物は米、甘蔗、コーヒー、ココア、ゴムなどで、鑛産物は、年産二十萬噸のボーキサイトを始め、金、ダイヤモンド、マンガン、雲母、石油などである。次にホークランド群島と南ジョージヤ島の主産業は牧畜と捕鯨である。

一、地中海の英屬領 マルタ島は僅かに農業が行はれてゐるが、ジブラルターは全くの要塞地帯で、産業的には殆どみるべきものがない。パレスタインは農業國で穀物、果實が主要生産物であつたが、近年は猶大資本家の手で、工業が發達し精油、鐵工業、製粉化學工業などがみられる。また死海からは鹽と臭化物が採れる。フランス・シヨルダンは大部分が沙漠で、産業は牧畜が主である。鑛産物には燐

礦と加里の埋藏があるといはれてゐる。

一、西アフリカ諸領 ヴェルデ岬に近い英領ガンビア植民地の主な産物は、落花生、毛皮、棕櫚核、南方のシェラ・レオネは年産三十萬噸の米、その他生姜、コーラ、棕櫚油、棕櫚核を産し、鑛産物には鐵鑛、金、白金があり、一九三六年の生産高は鐵鑛三十三萬噸、金一噸であつた。次に黄金海岸の主な産物はココア、コーラ、棕櫚油、棕櫚核、ゴム、バナナ等の農産物、金、ダイヤモンド、マンガンなどの鑛産物がある。一九三六年の産はマンガン二十二萬噸で世界第三位、金十七噸であつた。ギネア港の奥にあるニジェリアは農業を主とし、錫、金、銀、鉛、石炭の産物もある。次にセント・ヘレナの主産物は亞麻である。

一、南阿聯邦 金、ダイヤモンド、白金、クロム、マンガン、鐵鑛、銅鋼、錫鋼、マグネサイト、石綿、水銀、雲母、石炭、タングステン等々有用鑛物の殆ど總べてを産出してゐるが、鑛産額の九割まで金で一九三七年の生産高は金三百六十五噸で、世界第一位、石綿二萬六千噸で世界第二位、クロム鑛七萬五千噸で世界第三位、マンガン鑛二十七萬噸で世界第三位、その他石炭千五百萬噸、鐵鑛三十萬噸、銀三十四萬噸などであつた。農業は東部海岸地方で行はれ、牧畜は内部地方を主とし、羊毛産國として世界第五位である。砂糖、製粉、セメント、煙草以外には、まだこれといふ工業がない。バストラスドと、スワジランドは共に農牧業を主とし穀物、棉花、煙草、羊毛などを生産してゐる。

鐵、石炭、銅が発見されてゐるが、金以外にはまだ探掘されてゐない。南阿の北方にあるベチユアナランドは牧畜を主とし、鑛産物には金と銀がある。北方のローデシアは農牧業に適し、種々の鑛物が産出される。南ローデシアの一九三九年の生産額は金二十五億で世界第五位、クローム鑛十三萬五千吨で世界第一位、石綿五萬吨で世界第二位、北ローデシアのバナジウムは二百三十六吨で世界第二位、鋼鑛十七萬吨で三六年世界第四位である。ヌヤサ湖に臨むヌヤサランドの主な産物は、コーヒー、煙草、棉花、茶、西南アフリカは牧畜と鑛業を主としてゐる。鑛産物には、世界第一位のバナジウムを始め、ダイヤモンド、銅、鉛、タングステン等がある。尙この地はタンガニイカと共に、南阿を狙ふ據點として、獨逸が極めて、重視してゐる。

一、東アフリカ諸領ニケニヤは農業を主とし、鑛物資源はまだ充分に開發されてゐないが、金は一九三七年に一・七億の生産があつた。ザンジバルは、丁子の世界的産地として知られてゐる。タンガニイカは農牧業を主とし、木材の生産が多く、鑛産物には、年産二億餘の金を始め、ダイヤモンド、雲母、錫、タングステン、鹽などがある。ケニヤの奥地にあるウガンダは棉花の栽培を主とし、コーヒー、煙草、錫、金、獣皮、象牙、木材がある。マダガスカルの東方約八百軒のモーリシアスの主産物は製糖で、コブラ、アロー繊維の産出がある。セーシェル諸島は、コブラ、香料を生産してゐる。次にエチオプ・スダンの主要農産物は、棉花、胡麻、アラビアゴム、稷、落花生、棗椰子などで、牛、

羊、山羊を飼育してゐる。尙青ナイルの沿岸からは、バルブ材、タンニン材、南部スダンからは、マホガニー、その他の硬木、白ナイルの上流からバピルスの生産があり、金と鹽がこの地の鑛産物として擧げられる。ソマリランドは、牧畜のみが行はれ、アラビアにはアデンがあり、僅かに鹽と葉煙草の製造が行はれてゐる。

一、印度帝國ニパール諸島は眞珠、石油の産地として有名であり、中繼貿易が盛んである。印度帝國は農業が最も重要なもので、一九三七年の主要農産物の生産は、米四千五十萬吨で世界第一位、小麦九百九十七萬吨で世界第四位、大麥二百三十四萬吨で世界第五位、落花生三百三十萬吨で世界第一位、砂糖三百二十二萬吨で世界第一位、棉花百三萬吨で世界第二位、黄麻百五十六萬吨で世界第一位、煙草五十四萬吨で世界第三位、茶十八萬吨で世界第一位、胡麻四十八萬吨で世界第一位、玉蜀黍二百萬吨、コーヒー二萬吨、その他茶種、苧麻、阿片、藍、香料等である。牧畜は牛一億二千百萬頭、水牛三千百萬頭、羊千五百萬頭、山羊三千六百萬頭を飼育し牛と山羊は世界第一位である。チークその他有用材を生産する。豊富な鑛物は充分に開發されず、石炭を輸入してゐる状態である。その主要鑛産物の、一九三六年の生産額は、マンガン鑛四十一萬吨で世界第二位、クローム鑛二萬五千吨で世界第五位、鐵鑛百六十六萬吨で英領第二位、金十吨、銀百八十六吨、銅鑛一萬吨、鉛鑛九萬二千吨、亜鉛鑛六萬吨、石炭二千百萬吨、その他雲母などである。次に工業は設備鐘數九百七十三萬鐘（一九三八

年七月現在)の紡績工業が世界第七位、年産二百六十七萬噸の製鐵、製鋼業が世界第九位、その他製糖業、化學工業、皮革工業などがある。ビルマの主要生産物は一九三七年に米六百九十萬噸で世界第四位、銀百九十萬噸、石油百萬噸、その他錫、タンクステン、木材等である。セイロンは農業を主とし、茶九萬七千噸で世界第二位、米、ココナット、肉桂を産し、鑛物は黒鉛、金、寶石が主要なものである。英領馬來はゴムと錫の世界的産地で一九三七年の生産高はゴム四十八萬噸で世界第一位、錫七萬九千噸で世界第一位、コブラ十五萬噸で世界第二位、鐵鑛百六十萬噸、金一噸その他各種農産物である。北ボルネオは天然資源は豊富だが充分に開發されず、木材、サゴ米、ゴム、果實、石炭、石油などが主要産物である。

一、濠洲と新西蘭
 オーストラリアの産業は農牧業を主とし農産物の主なものは一九三六年に小麥四百八萬噸で世界第十位、大麥十六萬噸、オート麥三十二萬噸、馬鈴薯四十五萬噸、甘蔗糖七十六萬噸、その他果實、バター等で羊一億一千萬頭で世界第一位、牛千三百萬頭、馬百七十萬頭、豚百二十萬頭を飼育してゐる。鑛業は世界第三位の金を主とし金の埋藏量の豊富なのが今日の濠洲を齎らした。一九三六年の主要鑛産物の生産は、鉛鑛二十三萬噸、亞鉛鑛十七萬五千噸、金三十六噸半、銀三百八十二噸、カドミウム二百十四噸、その他銅鋼、マグネサイト、タンクステン、石炭等である。工業には毛織、紡織、硝子、製粉、製糖、製鐵、精煉等の諸工業があるが、組織や技術の點で改善を必要とするものが少くない。新西蘭の産業は農牧業を主とし、牛、羊、穀物、羊毛、冷凍肉、バター、チーズなどを主要輸出品としてゐる。鑛物は金、銀、石炭が主なもので、その他鐵、銅、燐鑛、硫黃等を産出する。(ダイヤモンド 八・二)

するものが少くない。新西蘭の産業は農牧業を主とし、牛、羊、穀物、羊毛、冷凍肉、バター、チーズなどを主要輸出品としてゐる。鑛物は金、銀、石炭が主なもので、その他鐵、銅、燐鑛、硫黃等を産出する。(ダイヤモンド 八・二)

週間經濟重要事項

- 七・三〇 大藏省議で與價消化策確立決定。
- 三一 薪炭材需給調整規則公布八月五日實施。
- 八・一 基本國策要綱發表。
 - 石炭配給調整規則公布十月實施。
 - 神奈川縣豆炭切符制採用。
- 三 圓圈向輸出調整品目追加擴大八月五日實施。